

電帳法・働き方改革に対応!

SuperStream×OCIで実現する経理DX・



スーパーストリーム株式会社 取締役 企画開発本部長 山田 誠



自己紹介





山田誠

スーパーストリーム株式会社

取締役 企画開発本部長 (CTO &CMO)



https://www.facebook.com/yamada.makoto



@MakYamada1

■ 経歴と現在

- ・1998年 新卒よりSuperStream事業に参画 現在、SuperStream経歴20年以上
- ・主にプリセールスやマーケ、商品企画部門を歴任 現在は商品企画、マーケティング、 プロダクト開発、 サポート、クラウド部門を統括
- ・2021年よりMIJS 副理事長

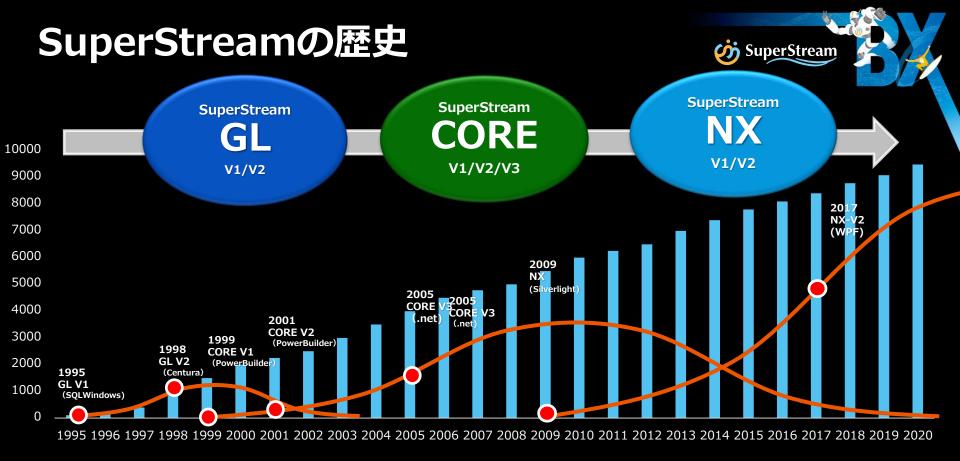
(MIJSは国内80社の有力ISVが集まるソフトウェア)



01

SuperStreamについて





会計・人事給与システムに特化、今年で26年目

SuperStreamの概況

2021年の10,000社到達を目指します

C/S対応 GLシリーズ

導入実績(2020年3月末)

"9,779社"

上場企業(累計)

"822社"



中堅~準大手向け会計・人事給与システム

9,700社の企業が採用

SuperStream Product Line-Up





充実した20以上の会計・人事システム

累計導入実績9,700社を突破















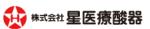


















































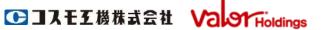


































85社を超えるSuperStreamパートナー



NXソリューションパートナー様













































































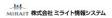
















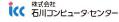




















































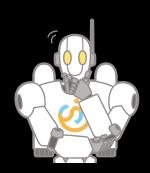




五十音順



さて本題です

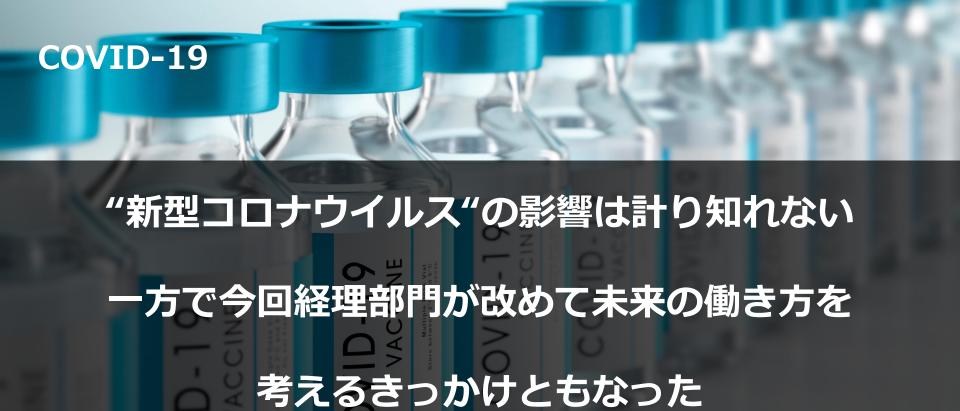




02

今なぜ"経理DX"が必要なのか?





コロナ期間中、日本中の経理部門が会社へ





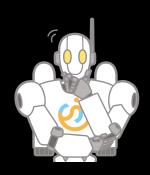


コロナは決算業務や給与業務に直撃 会社に向かう経理部門たち



「経理部門のDX推進の現状と課題」

アンケートを取ってみました

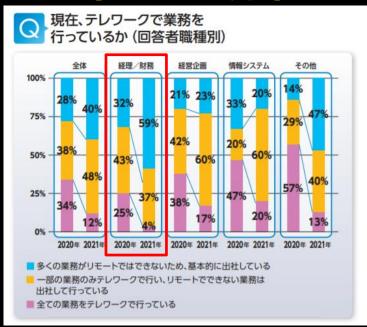


【質問】テレワークで業務を行っていますか?

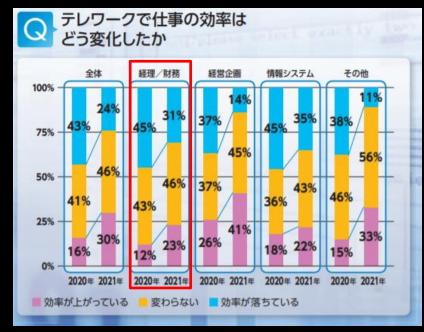


仕事の効率





経理・財務部門は出社が 6割と 突出して多い



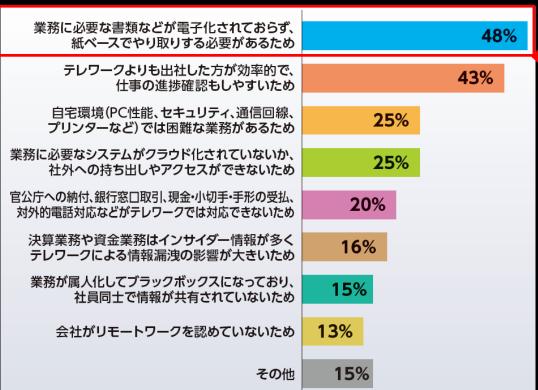
「経理/財務部門」は効率が 落ちていると回答

株)ダイヤモンド社とスーパーストリーム(株)共同調査 「経理部門のDX推進の現状と課題」についての調査レポート 調査実施期間:2021年4月2日~4月15日

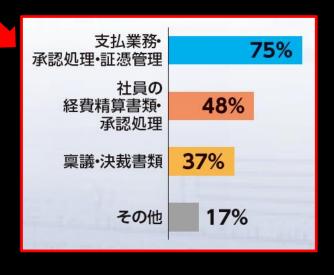
【質問】なぜテレワークで業務を行えないのか?



なぜテレワークで業務を行えないのか?



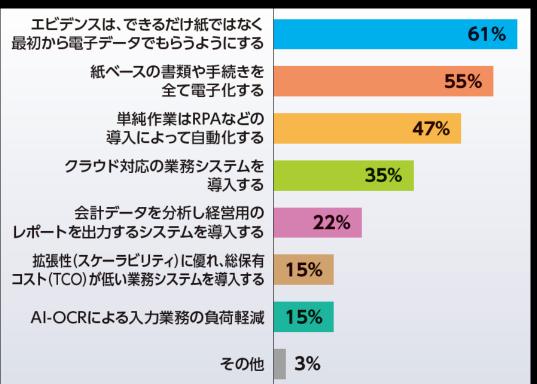
電子化されていない書類は?



【質問】DXで生産性をあげるには?

SuperStream

自分の担当業務の生産性を上げるために、今後どのような施策が必要か?



【経理DXによる解決策】

- ①紙(請求書/経費)の電子化
- **2AI/RPAの活用**
- **③システムのクラウド化**

(環境・セキュリティ)

経理が変わるべき3つのDX要件

~ウィズコロナ時代、経理のテレワークを促進するために~

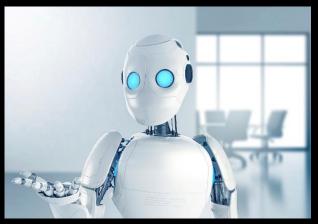
1 紙の撤廃 (ペーパーレス)

2AI・RPAの活用



3クラウドの利用拡大





- ・ヒトとAI/Robotの業務分担
- ・AI/Robotへ定型業務を任せる
- ・月次プロセスの見直しと早期化 (労働生産性の向上)

- - ・経理・人事の働き場所を選ばない
 - ・テレワーク前提の働き方
 - ・固定費(家賃/光熱費)の削減

- ・ 社内/社外の紙の撲滅
- ・電子証憑(領収書、請求書/検収書)
- ・スキャナ保存法への対応を推進



3つの経理DXを紐解いていきましょう

(紙の撤廃、AI/RPA、クラウド)





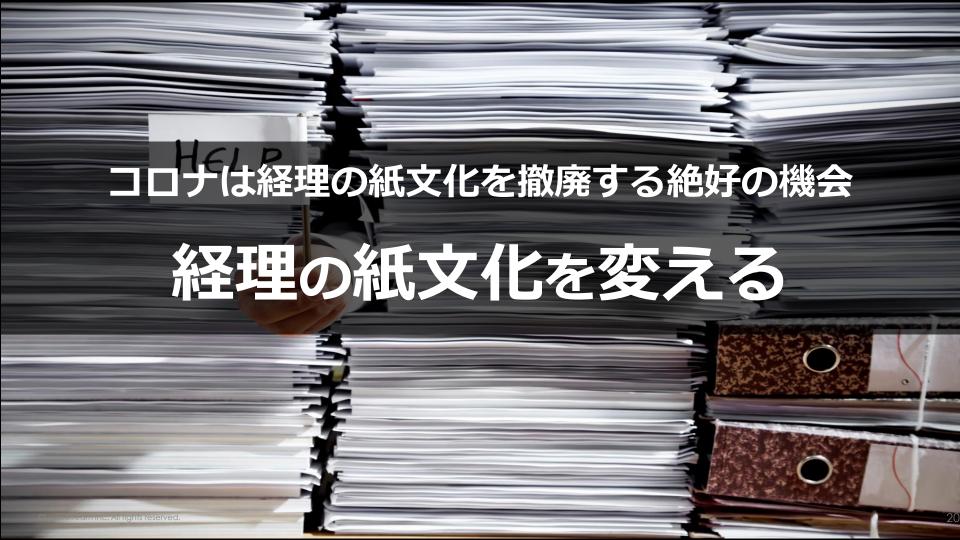


経理DXの3つの要件

の紙の撤廃

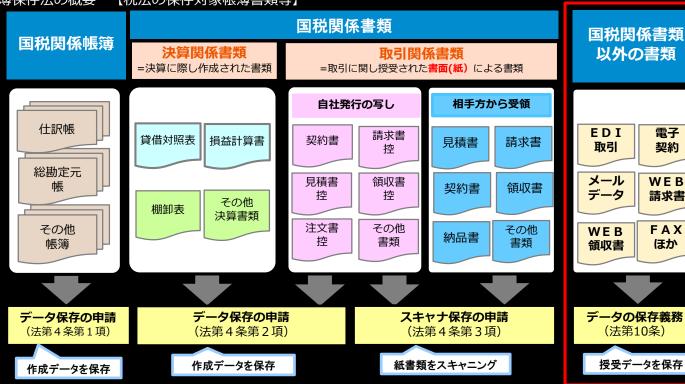






①2022年1月、伝帳法改定の波

電子帳簿保存法の概要 【税法の保存対象帳簿書類等】



※法4条1項~3項の承認制度は令和4年1月1日以降廃止

SuperStream

雷子

契約

WEB

害灾請

FAX

ほか

●スキャナ保存法:電子帳簿保存法に規定されている国税関係書類の保存方法の1つ。これにより紙の書類を電子データに変換して保存が可能

●電子取引:取引情報の授受を電子データで行う取引のこと。 ※取引情報(注文書や請求書、見積書、領収書、契約書)|

2取引関係書類の電子化





「経理に残る紙文化」

- ・請求書/検収書/領収書などの証憑 企業間を書類が未だに飛び交う日々 電子化推進が今こそ必要
- ・社員の経費精算などの領収書
- ・スキャナ保存法が緩和されたのに <u>未だに電子化しない企業が</u>多数存在

日本経済新聞電子版 2020/6/19記事より

経理の紙文化を変える

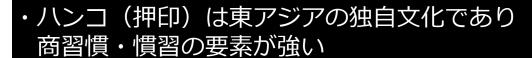
③ハンコレス

日本經濟新聞

业 中 大 記事利用について 局 印刷

「ハンコは本当に必要なのか?」

📆 SuperStream



「契約書の押印は必須ではない」 日本政府もハンコ不要論の見解を初めて 指針を提言(2020/5)

・ハンコレスを目指すと、社外/社内の 承認と証跡のシステム化が益々重要になり ワークフローシステムの利用が拡大する

日本経済新聞電子版 2020/6/19記事より

「契約書のハンコ不要」、政府が見解 対面作業削減狙う

2020/6/19 11:50 日本経済新聞 電子版



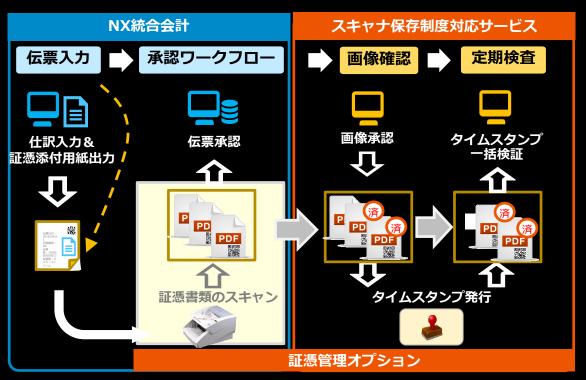
政府は19日、民間企業や官民の取引の契約書で押印は必ずしも必要ないとの見解を初めて 示した。押印でなくてもメールの履歴などで契約を証明できると周知する。押印のための 出社や対面で作業を減らし、テレワークを推進する狙いがある。

内閣府、法務省、経済産業省は同日、連名で押印に関する法解釈についてQ&A形式の文書 を公表した。契約書に押印しなくても法律違反にならないかや民事訴訟法トのルールを明 確にした。

文書は「特段の定めがある場合を除き、押印しなくても契約の効力に影響は生じない」と 記した。

SuperStream-NX証憑管理





スキャナ保存制度の要件に対応

- 2016年度にスキャナ保存制度が改定
- 伝票と紐づけた証憑(請求書・領収書)を 電子データで管理
- ■画像確認が終了したスキャン保存証憑は タイムスタンプを自動付与、一括検証
- ■証憑の差替えた場合はデータを世代管理
- 2020年2月28日、JIIMA認証取得 電子帳簿ソフト法的要件認証 (認証番号101000-00)

今こそ「紙の撤廃」を浸透させる絶好の機会

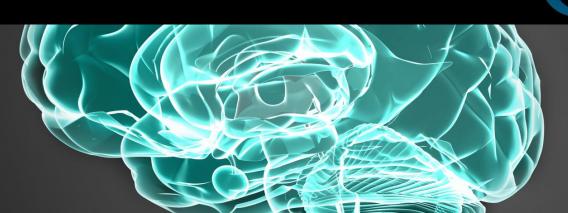




2 AI/RPAの活用

~経理DXの実現で働き方を変える~





経理部門のAIに対する期待

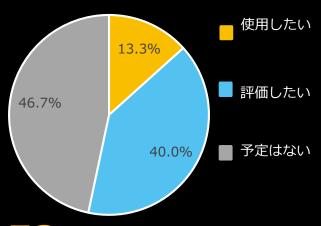
~2020年1月29日~2月18日の期間でSuperStreamユーザへアンケートを実施~



SuperStreamユーザへのアンケート(回答72社) ※主に年商100億〜3000億の経理担当者が回答

AI-OCRによる業務効率化をユーザの約半数が期待

Q:証憑(請求書等)のAI-OCRを 業務に利用したいですか?



53%が活用したいと回答

Q:期待する業務の効率化割合(削減)は どれくらいですか?



40%の削減が見込めると期待

経理部門のAI活用として、AI-OCRが注目されている

SuperStream-NX AI-OCR(請求書明細)

~入力業務から支払処理までの主な流れ~



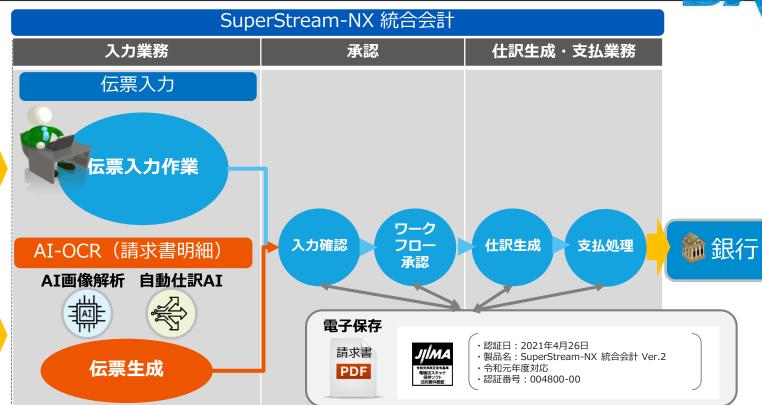


従来



AI-OCR





新製品「SuperStream-NX AI-OCR(請求書明細)

~ 請求書入力業務の課題 ~



請求書入力処理の課題

- 請求書に記載されている情報が多いため、**入力作業に時間**がかかる
- 入力作業は手入力で行うため**入力ミスが発生**するリスクがある
- ③ 月末月初に集中的に発生するため、その時期は残業が発生する

SuperStream-NX AI-OCRで課題解決

請求書 W0201-60382's 3-1-1

く請求書サンプル>

①入力作業時間を削減

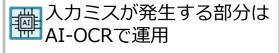


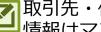
請求書の入力作業は AI-OCRが担当



担当者は入力内容の確認 を担当

②入力ミスを削減





取引先・仕訳形式に関する 情報はマスタ設定を参照

③残業時間の削減



請求書の取込は、夜間に バッチ処理



担当者は出社後、入力内容 を確認

SuperStream-NX AI-OCR(請求書明細)で、 ネ請求書の"入力業務負担軽減"と"業務効率化"を実現

経理DXを実現するオフィスロボットの活用

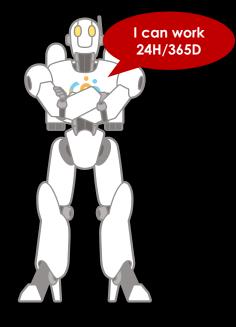
~SuperStream-NX オフィスロボット~



人事給与スキル

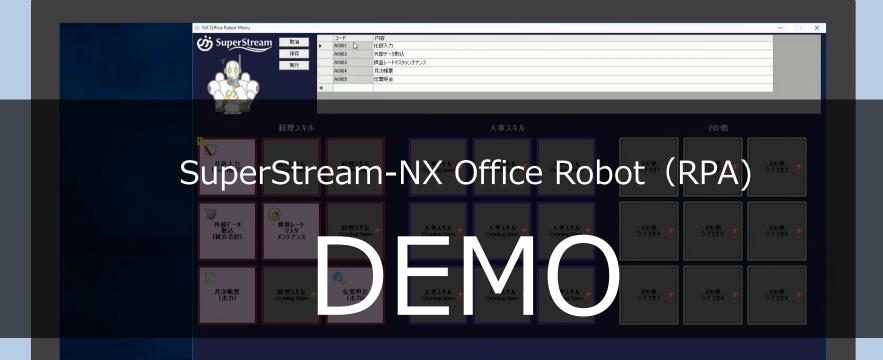
会計スキル







RPAを業務に活用し労働生産性を向上





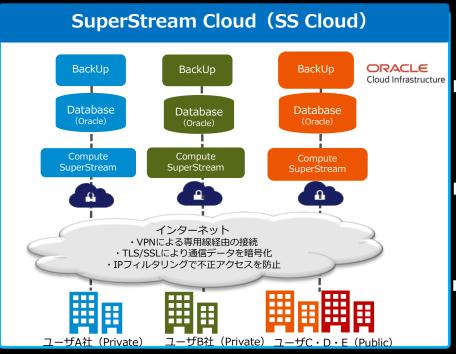
05 経理DXの3つの要件

8クラウドの利用拡大



会計システムをクラウドで利用する





クラウド会計の基盤をOCIに選択

■Oracle Databaseを利用しているSuperStreamで

コストやセキュリティ面でOCIが最適と判断

■データベース暗号化による強固なセキュリティ

(会計システムを外部から乗っ取られるリスク)

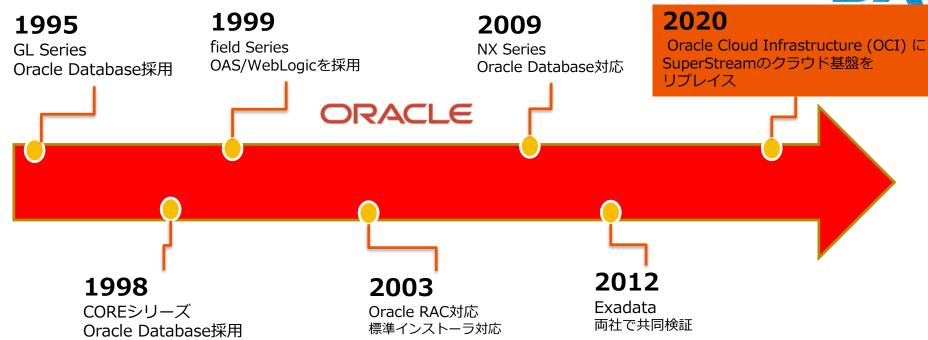
■Enterprise Editionが安価に利用可能

大規模顧客にも耐えうる基盤を提供可能に

SuperStreamの経理DXを支えるOCI

SuperStream×Oracleの歴史





1995年より25年以上 Oracle社と協業





06 さいごに





SuperStreamによる経理業務のDX

DX化





AI-OCR RPA 定型業務の 自動化

- 経理スキルを細分化 したRPAを標準装備
- 紙の請求書を AI-OCRで電子化し 勘定科目を推論、 仕訳伝票を自動起票
- グループ全体の 経営状況をKPIや セグメントなど
- ▶さまざまな視点で可視化
- 代表的なKPIについて30種類の 経営分析テンプレート を用意

管理会計の 強化





クラウド対応の システム

テレワーク化

SuperStream 自体が Webシステム化 されており、 自宅で経理業務を 遂行できる

e-文書法対応 オプションで 伝票の ワークフロー承認も リモートでできる

証憑の電子化と

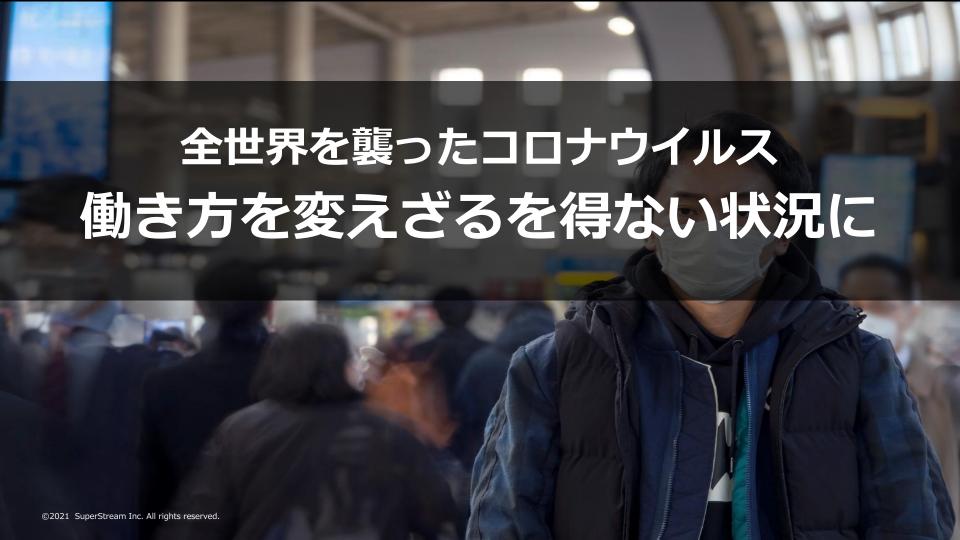
電子帳簿 保存法対応の 証憑管理 クラウド対応

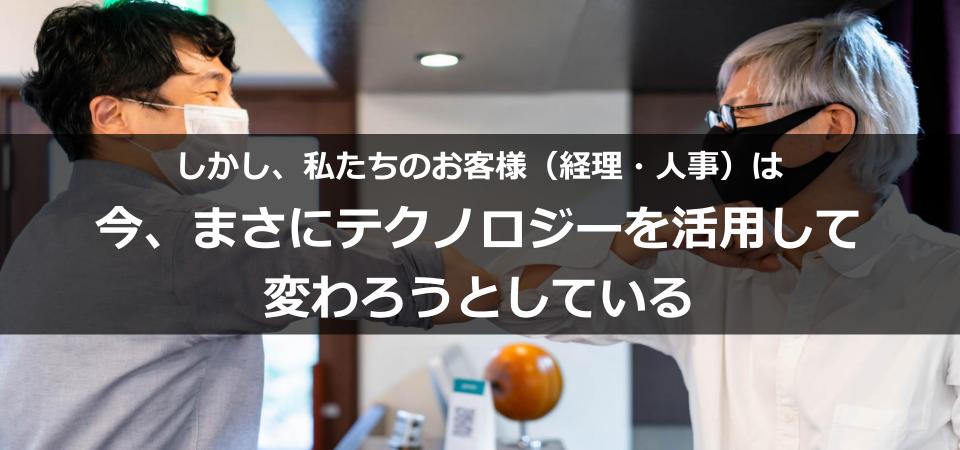
証憑管理 e文書法対応

管理会計 経営分析

©2021 SuperStream Inc. All rights reserved.

SuperStream-NX

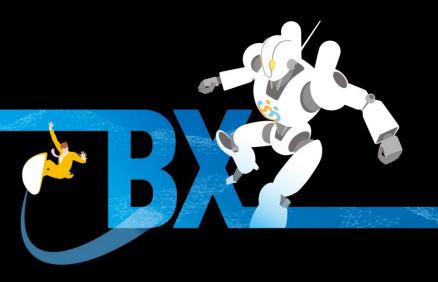






(BX=Back Office Digital Transformation)

©2021 SuperStream Inc. All rights Feserved.



日本の会計・人事をもっと優しく、もっと便利に

ご清聴ありがとうございました

